



平成 30 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社イムラ封筒  
代表者名 取締役社長 井村 優  
(コード：3955、東証第 2 部)  
問合せ先 取締役管理本部長 食野 直哉  
(TEL. 06-6910-2511)

## 中期経営計画『 Challenge for the Next 100 』に関するお知らせ

当社グループは、2018 年度から 2020 年度までの 3 か年の中期経営計画を策定いたしましたので、その概要につきましてお知らせいたします。

株式会社イムラ封筒は 2018 年 7 月に創業 100 周年を迎えます。これもひとえにステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

100 周年は当社グループにとって、次の 100 年に向けた新たなスタートでもあり、次の 100 年を見据えた中期経営計画『 Challenge for the Next 100 』の策定にあたり、「私たちは次の 100 年もコミュニケーション分野において最高の付加価値を提供します。そしてすべての人の笑顔に貢献します。」を中期計画の経営ビジョンとして制定いたしました。

具体的には、以下に掲げる経営目標及び経営目標を達成するための重点施策を実行することにより企業価値向上に取り組み、「**Give&Give&Give**® (すべての人に最高の付加価値を届け続ける)」の精神に基づき、新生イムラの基盤づくりをすすめてまいります。

### 1. 経営目標

- (1) 事業構造の改革実現に向けた具体的行動に着手するとともにソフト面の変革を推進し、**Give&Give&Give**® (すべての人に最高の付加価値を届け続ける) の精神に基づく、働きがいのある企業風土を醸成する。
- (2) 経営資源である「人・物・金」を総点検し、新たなイムラ封筒を創造する。
- (3) 社員の意識改革を促し、サービス業ができる製造業を目指すと共に「モノ」から「コト」への展開を図る。

(4) 定量目標（連結）

（百万円）	2017年度 実績	2018年度 予想	2020年度 目標
売上高	22,624	23,000	24,000
営業利益	501	550	900
経常利益	598	620	950
当期純利益	414	340	650
R O E	3.3%	2.7%	4.7%

2. 経営目標を達成するための重点施策

(1) 成長の実現

- BPO 分野及びダイレクトマーケティング分野への対応強化
- メーリングサービス事業におけるサービス領域の拡大
- マーケティング機能を強化し包材関連商品を拡販
- 既存事業とのシナジーを活かした I T を活用したビジネスの拡大
- 戦略的投資による事業領域の拡大

(2) 生産ラインの変革

- BPO 分野の強化を支える高度な情報セキュリティーレベルを備えた施設の新設
- ダイレクトメール分野への対応強化を支える設備・体制の強化
- 包材関連商品の拡販を支えるパッケージ専用ラインの新設
- 検査装置の強化及び自動化設備の導入による省力化、省人化の推進

(3) 挑戦的かつ一体感のある企業風土の醸成

- グループ一体経営体制の構築によるグループガバナンスの強化
- P R 活動を主体とした企業価値および株主価値の向上
- ダイバーシティ施策を含む働き方改革の推進

<本資料の取扱いについて>

上記資料に掲載する中期経営計画の目標値は、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、実際の業績は業況の変化等により記載数値と異なる場合があります。

以上